評論・深遠の暁　第4巻

評論・ザルクセスの神秘の書
第4巻

マンカー・キャモラン　著

ガートック

ᛁᛉᛈᛚᛇᛞᛈ


第4の鍵を持つ者は、それによりその心を知るべし。マンデックス・テレンはかつてドゥルーの専制君主によって各領地までが完全に支配されており、奴隷の海同士の国境戦争も起きた。彼らは古い時のトーテムの血族でありながら邪悪で、あざけりと冒とくの力に満ちていた。かつてこの世に生を受けた者の中で、ドゥルーの許容範囲を彼らほど逸脱していた者はいない。


私は魂をマグナ・ゲーに捧げ、楽園での喜びを口にする。彼らは密かに、消え去る成り上がり者の領地であるリグのはらわたに刃のメエルーンズを創造したからだ。彼らは様々な水域からやって来たが、それぞれのゲットはただ一つの目的を共有している。善の王子を策略にかけ、不揃いな草刈り跡で彼の肖像を回転させ、オブリビオンにおける最も貴重かつ希少なもの、すなわち希望を吹き込むことだ。


不死身となった私は楽園から詠唱する。盗賊を捕らえるメエルーンズ、聖餐のパンのメエルーンズ、天に向かった赤い腕のメエルーンズ! ヌマンティア! 自由!


修練者たちよ、そういった時代が再び訪れるという考えを否定するな! メエルーンズはリグを倒し、その顔を打ち、19と9と9つの海がそれぞれ自由だと宣言した。そうして彼はシロディールの大蛇の王冠にひびを入れ、連邦を作ろうとしたのだ!



当時と同じように、近頃では何もかもが変化し、魔法の言葉ヌマンティアによって大暴動が持ち上がり、チメル・ガージグの塔を引き倒し、成り上がり者の神殿騎士団は虐殺され、上の中庭から下のくぼみへと落ちるしずくのように血が降り、そこでは何かに取りつかれたような顔をした奴隷たちが、鎖と歯を看守のもとへと届け、すべての希望は小競り合いに変わった。



閣下の暁は耳を傾けている! すべてのオルビスに自由を知らしめたまえ! メエルーンズは訪れた! 支配権などない。自由意志を守れ!



諸君の赤い軍団がリグから寒々とした奥地へと移動したことによって太陽は引き裂かれた。すべてのゲットに軍団が配備され、クーリは倒され、ジャフは倒され、ホルマギレは冷たい塩によって押しつぶされ、今後永久にホルを呼び続け、再び門の時代が訪れることになった。



苦境の中にあって、マルビオージは倒され、鎖の街は新たな骨の温かさに癒やされて解放された。ガルグとモルガルグはある日、一晩のうちに一緒に倒され、再び門の時代が訪れることになった。



穴となったNRNに苦悩を、そしてそこに住むドゥルーであるヴェルメイのニモークには7つの呪いを! しかしそのために十字軍は我が神の創造物になり、ゲーに率いられたゲットは意志を貫き、自身の良心以外に束縛はなかった! オルビスの人々よ、諸君の地獄は崩れ去ったことを知るがいい。そして自由そのものであるヌマンティアを称えよ!

評論・深遠の暁 第**4**巻

FormId	skyrim.esm:086EFB
Owning plugin	skyrim.esm
Local FormId	086EFB
Editor ID	DA07BookMythicDawnCommentariesV4
Inventory image	(none)
Menu art	HighPolyBookDA07
Value (gold)	25
Type	Book or tome
Weight	1
Can be taken	Yes
Teaches	(none)
Inventory description	(none)
Keywords	VendorItemBook
Locations	2
Leveled lists	0
Scripts	0

© Bethesda Softworks LLC and the authors of the mods in the load order.
Exported and generated with SkyrimSourceExporter.